

富 建 第 204 号

平成20年10月10日

国土交通省道路局長 殿

富士川町長 坪内伸浩



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

標記につきまして、別紙のとおり提出いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

静岡県富士川町

- ・ 事業の実施に当たり、住民の考え、意見が十分反映される取り組みをもっと行う。
- ・ 現在ある道路をもっと有効に利用する。
- ・ コスト縮減（工法の工夫や新技術の活用など）の努力を行う。ただし、コスト縮減が行き過ぎると、施工業者の賃金を圧迫したり、中小企業の経営が困難になり、手抜き工事や、品質の悪い構造物ができる可能性もあるので、適正な積算により請負業者に負担やしわ寄せがいかないように配慮も必要と思われる。
- ・ 経済性、効率性も大変重要であるが、地方には、山間集落の災害時の孤立解消や救急医療などそれだけでは評価できない道路整備もあるため、そのような事情も考慮して欲しい。
- ・ 既存道路の維持管理費の負担が多くなっており、また地方財政も厳しいため、維持管理について費用や技術支援を行って欲しい。
- ・ 幹線道路の整備は、重要であるが、支線の生活道路の整備も支援してもらいたい。

今後の道路行政についての意見・提案

②－１地域の現状と抱える課題

様式 ②

静岡県富士川町

○ 現状

- ・ 平地部が少なく３分の２は急峻な山林で山間に小さな集落が点在している。
- ・ 町内の主要幹線道路は、県道富士由比線や主要地方道富士川身延線などの県道がありますが、富士川橋交差点を中心とした慢性的な交通渋滞を起こしており、通勤、通学に支障をきたしている。
（富士川に橋が不足）
- ・ 道路や公園等の都市基盤の整備が遅れている。
- ・ 財政が厳しいため、既存の道路の維持管理費の負担が増大し、整備事業の先送りや事業期間が長期化している。
- ・ 人口の少ない町であり職員数が少なく当然技術者も少ないし、専門性に乏しい。

○課題

- ・ 山間集落の孤立化を防ぐため、災害に強い道の整備。
- ・ 山間部に道路があるため、カーブが多く狹隘で縦断勾配もきつい
ため、通行の安全性の確保。
- ・ 渋滞解消（新々富士川橋早期完成）
- ・ 渋滞のため、生活道路や通学路に通過車両が流れ込んでおり車及び歩行者の安全性の確保。
- ・ 救急医療施設への到達時間短縮
- ・ 狹隘道路の解消及び歩道整備
- ・ どの事業を優先的に進めるか、また、いかに事業完成までスピードを速めるか。
- ・ 事業評価の適正な運用と透明性の確保。
- ・ 既存施設の長寿命化
- ・ マンパワー不足

人に優しく交流を生む道路交通体系の整備

円滑な交通処理や広域交流を促進するため、長期的な見通しのもと、効率的な幹線道路網の整備を進めるとともに、交通弱者に配慮した公共的な交通手段の維持・確保に努め、誰もが利用しやすく、また環境にも配慮した総合的な交通体系の構築を目指します。また、生活道路の整備による利便性や安全性の確保に加え、歩行者や自転車を優先し、地域性を重視した整備を推進します。さらに、生活を脅かす地震や風水害等の自然災害に対応できる整備を進めるとともに地域防災体制の強化を図り安全で安心できるまちづくりを目指します。

１．幹線道路網の整備

人・物の広域交流を促進するため、富士川スマートＩＣのフルインター化や新々富士川橋の早期開通を目指すとともに、幹線道路網の体系的整備を推進し、周辺都市との交通流動の円滑化を図る。

- ① 富士川スマートＩＣフルインター化
- ② 新々富士川橋の整備
- ③ 幹線道路網整備（道路網の再検討及びバイパス検討整備等）
- ④ 交通円滑化事業（交差点改良、案内看板・標識等の適正化）

２．生活道路の整備

地域の利便性の確保や自然災害等による山間集落の孤立化を防ぎ地域間格差の解消及び交通弱者に配慮し、生活道路の充実を図る。

- ① 狹隘道路拡幅整備
- ② 歩道整備
- ③ 災害防除（地震や異常気象などによる自然災害に強い道づくり）

３．公共的交通手段の確保

今後の一層の高齢社会の進展等を考慮し、高齢者や子どもなどの交通弱者に対応する公共的交通手段の確保に努める。

- ① 地方路線バスの維持等（路線バスの補助等）
- ② コミュニティ交通調査研究（民間活用の検討）

４．交通安全環境の整備

交通事故が発生しにくい施設整備を推進するとともに、交通安全意識の高揚を図る。

- ① 交通安全施設整備
- ② 交通安全推進（啓発、危険箇所等の情報提供等）

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

様式 ④

静岡県富士川町

○ 重点事項	○ 代表事例	○ 期待する効果や評価等	○ その他
・地域活力の向上	スマートＩＣフルインター化	一般道の混雑緩和 所要時間の短縮効果 地域の利便性向上と地域活性化 合併後の両市町間の一体化促進 救急医療体制の充実	事業主体 中日本高速道路㈱ 静岡県 富士川町
・都市交通の快適性、 利便性の向上	（仮称）新々富士川橋整備	地域間交流が増大し、社会経済活動の活性化 災害時に緊急物資等を運ぶ「緊急輸送路」の確保 富士川橋周辺の交通渋滞緩和	事業主体 静岡県
・大規模な地震、火災 に強い国土づくり等	橋梁落橋防止事業	橋梁の耐震補強関係により防災対策、生活環境の向上 既設の公共施設の長寿命化	事業主体 富士川町
・計画的・効率的な維持 管理や更新の推進 ・水害等の災害に強い 国土づくり ・良好な生活空間・自然 環境の形成	各地区要望事業実施計画作成及び実施 （生活道路維持事業） 生活道路改良工事 狭あい道路拡幅整備	住民の意見の反映、参加の促進 透明性の向上 防災対策、生活環境、利便性の向上 地域間格差の解消 通行の安全性の確保 交通弱者の安全性の確保	事業主体 富士川町
・少子・高齢社会に対 応した子育て環境、 バリアフリー社会 の形成	路線バス補助事業	高齢者や子どもなどの交通弱者に対応する公共的交 通手段の確保	事業主体 富士川町